

令和三年度 一般入学試験問題「国語」

【試験上の注意: 答えはすべて解答用紙に記入すること】

◎ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

新感染症のパンデミック（世界的大流行）はいつ起きてもおかしくない。わかっていたはずなのに、(A) は (B) を超える。世界が思い知らされたこの1年である。

昨年、私たちは多くの経験を積み、新型コロナウイルスと対峙（たいじ）するための新たな知識を手にした。にもかかわらず、感染制御は今なお苦戦を強いられ、先行きが見えていない。

無症状や軽症の人が感染を広げるこのウイルスのやっかいな性質のためでもあるが、それだけではない。2009年のインフルエンザ・パンデミックを経て、保健所や検査体制の強化、医療の整備、意思決定プロセスの明確化、情報発信の改善など必要な備えはわかっていた。それなのに対策は置き去りにされた。感染症へのリスクを高める都市化やグローバル化への警戒感も薄かった。

x (C) うした複合的要因がもたらしたのが今の日本の状況だ。

遺伝子技術で早期に開発されたワクチンに期待がかかるが、すぐに状況が (D) こうでんするわけではない。これだけに頼るのは誤りだ。

短期的には、昨年から流行第3波を乗り切るために最善を尽くさなくてはならない。流行が始まって以来、初めて経験する冬であることにも (E) 留意する必要がある。

英国の変異ウイルスのように、新たな要素も加わり、感染の (F) ようそうが大きく変わる可能性もある。

(C)、y 再考しておかねばならないのが科学と政治の関係だ。

当初から、科学と政治の関係には課題があった。さらに第3波で浮き彫りになったのは、専門知に対する政治の無理解だ。

専門家の分析によれば感染拡大の火元は東京を筆頭とする大都市だ。感染抑止には人々の移動抑制に加え、飲食店の営業 (G) じしゅくや時間 (H) たんしゅくが有効であることがデータからわかっている。

(D)、菅義偉政権は経済対策に重きを置き、感染対策が後手に回った。首都・東京あずかる小池百合子知事も反応が鈍かった。

感染抑止の (I) 要諦は (J) 迅速に手を打つことだ。決断が遅れるほど医療にも経済にも悪影響を及ぼす。

拡大傾向が頭打ちになっても、感染抑止策を性急に緩めないことが (K) 肝要だ。第3波の大きな波は、第2波が下がり切らないうちに規制を緩めた結果でもある。失敗を繰り返さないようにしたい。

感染抑止策と経済のバランスをどうとるか。困難な課題は今後もつきまとう。感染防止策の徹底で死者を最小限にするか、経済を回すことで困窮者の自殺を減らすか。政府の対策はどちらに重きを置くかを迫っているように見える。そのような「命のトレードオフ」は受け入れられない。

感染防止を主眼とした上で、経済的困窮者を救うきめ細かな手立てを講じるべきだ。そのために感染症対策を組み込んだ新たな社会経済モデルを政府も経済界も検討してほしい。

コロナを乗り切った先にある次のパンデミックへの備えも (L) 怠らないようにしたい。中長期的に感染症に強い社会を作っていく。それは単に、コロナ前の生活を取り戻せばいいということではない。

感染症対策を国の安全保障と考えるなら、有事に必要な体制を平時から組み込んでおく必要がある。医療や保健所の体制強化に加え、どうすれば平時と緊急時で体制を (M) じしゅうなんに変化させられるか。政府は知

受験番号

広島市立看護専門学校 第二看護学科

令和三年度 一般入学試験問題 「国語」

【試験上の注意答えはすべて解答用紙に記入すること】

恵を絞ってほしい。

感染症全般に対応できる公衆衛生人材の育成、ワクチン開発や検査の基盤技術の確立も大事だ。

(E) 根源的な課題として、社会の構造、人々の暮らし方そのものを変えることも重要だ。

都市への一極集中、満員電車での長時間通勤、人々が一斉に移動する休暇。新型コロナウイルス流行の初期にはこうした社会を変えたいという切実な思いが共有された。

その後、大きなうねりになってきているとは言えないが、少しずつでも変革を進めたい。z コロナを機に急速に普及した情報技術も後押ししてくれるはずだ。

パンデミックを招く状況を改善する努力も欠かせない。新感染症の多くは人と動物の両方に感染する病原体が原因となる。

森林伐採、農地開発などで野生動物との接触が増えれば、パンデミックのリスクも上がる。生態系を守ることが人間社会を守ることにもつながるはずだ。

【毎日新聞社説 令和三年一月三日】より

問一 傍線①から⑩について、漢字は平仮名に、平仮名は漢字に直して書きなさい。

問二 空欄A、Bに入る言葉を次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 想像 イ 空想 ウ 実際 エ 現実

問三 空欄C、D、Eに入る言葉を次の中から選び、記号で答えなさい。

ア ところが イ さらに ウ そこで エ および オ いよいよ カ 他方

問四 傍線部Xに「こうした複合的要因がもたらしたのが今の日本の状況だ」とある。

- 一 「こうした複合要因」とは何か。説明せよ。
- 二 「今の日本の状況」とはどのようなことか。説明せよ。

問五 傍線部Yに「再考しておかねばならないのが科学と政治の関係だ」とある。どうして「科学と政治の関係」を「再考」する必要があるのか。説明せよ。

問六 傍線部Zに「コロナを機に急速に普及した情報技術も後押ししてくれるはずだ」とある。「ここでいう「情報技術」とはどのようなものが想定されているのか。自分の経験や知識を活用して、説明せよ。